

- 問1 北条泰時が制定した御成敗式目の中で、諸国の守護に課せられた職務として正しいものはどれですか。当時の条文には、御家人に京都の警備を命じることや、重大犯罪の取り締まりについて記されています。 (2021年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------|-------------------------------------|---|-----------------------------|
| 1. 朝廷の政治を監視し、天皇の代替わりを管理する。 | 2. 全国の田畑の面積を調査し、農民から納められる年貢の額を決定する。 | 3. 御家人に京都の警備（京都大番役）を命じ、謀反人や殺人人などを取り締まる。 | 4. 諸大名の参勤交代を監督し、江戸の治安を維持する。 |
|----------------------------|-------------------------------------|---|-----------------------------|
- 問2 鎌倉幕府において、将軍と直接の主従関係を結んだ武士である御家人の間で行われた、土地の仲立ちによる双務的な関係を何といいますか。 (2021年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|-----------|---------|
| 1. 版籍奉還 | 2. 御恩と奉公 | 3. 寄進地系荘園 | 4. 封建制度 |
|---------|----------|-----------|---------|
- 問3 鎌倉時代の文化は、武士の台頭を背景に、力強く写実的な作風が特徴です。この時期を代表する彫刻家の一人で、快慶らとともに東大寺南大門に安置された金剛力士像を制作した人物は誰ですか。 (2016年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|-------|-------|
| 1. 観阿弥 | 2. 世阿弥 | 3. 雪舟 | 4. 運慶 |
|--------|--------|-------|-------|
- 問4 鎌倉時代初期の武士社会では、自分の持つ領地を複数の子に分けて継がせる相続方法が一般的でした。この相続方法を繰り返した結果、御家人の経済状況にどのような変化が生じたか、最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 一族の中で最も有力な者が領地を独占したため、他の兄弟たちは幕府の役人として登用された。 | 2. 一族の人数が増えることで開墾が進み、御家人の生活は以前よりも豊かになった。 | 3. 領地の売買が自由化されたことで、分割された土地を集約して大規模な農業経営が行われた。 | 4. 世代を重ねるごとに個々の武士が受け継ぐ領地が細分化され、生活が困窮する原因となった。 |
|--|--|---|---|
- 問5 江戸時代の俳人・松尾芭蕉が『奥の細道』において、北上川を望む高館（源義経の居館跡）を訪れた際、かつての奥州藤原氏の栄華をしのんで詠んだ句に関連する記述として、正しいものを選びなさい。 (2019年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 奥州藤原氏は、京都の文化を積極的に取り入れ、平等院鳳凰堂を平泉に建立した。 | 2. 松尾芭蕉が訪れた際、平泉には奥州藤原氏によって建立された金閣が残っていた。 | 3. 源頼朝は、奥州藤原氏を滅ぼした後に守護・地頭を全国に設置し、支配を固めた。 | 4. 源頼朝は、奥州藤原氏が独占していた日宋貿易の権利を奪うために平泉を攻めた。 |
|--|--|--|--|
- 問6 1185年に源頼朝が朝廷から設置の許可を得て、全国の荘園や公領ごとに配置した、土地の管理や年貢の取り立て、警察活動などを行う役職を何といいますか。 (2023年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|---------|-------|-------|
| 1. 執権 | 2. 検非違使 | 3. 地頭 | 4. 守護 |
|-------|---------|-------|-------|
- 問7 1221年に起こった承久の乱の後、鎌倉幕府が西日本への支配力を急速に拡大させた仕組みについて、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 上皇側に味方した貴族や武士から没収した土地に、幕府の基盤である東日本の武士を地頭として新たに派遣した。 | 2. 北条氏が執権の地位を世襲することを全国に宣言し、守護を西日本の各州に配置して警察権を強化した。 | 3. 朝廷の土地制度をすべて廃止し、全国の土地を幕府の直轄地とするなどで、武力による一括管理を確立した。 | 4. 西日本の有力な武士たちに幕府の要職を与え、京都に置いた六波羅探題の管理下で自領の支配を認めさせた。 |
|--|--|--|--|
- 問8 13世紀初頭にモンゴルの諸部隊を統一し、優れた機動力を持つ軍団を率いて中央アジアなどを征服し、広大なモンゴル帝国を築き上げた人物は誰ですか。 (2015年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|----------|------------|
| 1. ナポレオン | 2. 秦の始皇帝 | 3. コロンブス | 4. チンギス・ハン |
|----------|----------|----------|------------|
- 問9 鎌倉幕府が六波羅探題を設置した背景と、その役割についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 有力御家人の北条氏が実権を握る際、他の御家人の不満を抑えるための裁判機関とするため。 | 2. 源頼朝が征夷大將軍に任命された際、公家との交渉窓口として京都に常駐の役所を置くため。 | 3. 元寇によるモンゴル帝国の襲来に備え、九州地方の沿岸警備や御家人の動員を統轄するため。 | 4. 承久の乱で朝廷側を破った後、二度と幕府に反抗させないよう監視し、支配を強化するため。 |
|---|---|---|---|
- 問10 1232年、鎌倉幕府の3代執権であった北条泰時は、武家社会でそれまで行われていた慣習などをまとめ、日本で最初となる武士のための法律を制定しました。この法律の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|-----------|----------|-------------|
| 1. 御成敗式目（貞永式目） | 2. 公事方御定書 | 3. 武家諸法度 | 4. 禁中並公家諸法度 |
|----------------|-----------|----------|-------------|
- 問11 元寇の際、御家人たちは異国の襲来を防ぎましたが、幕府は防衛戦であったため新たな領地を獲得することができませんでした。この結果、戦功を挙げた御家人に対して十分におこなうことができず、御家人の困窮を招いた処置は何ですか。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------|--------------------|------------------|-----------------|
| 1. 御成敗式目の制定による裁判の公正化 | 2. 徳政令の発令による借金の帳消し | 3. 御家人への十分な恩賞の支給 | 4. 守護・地頭の全国への設置 |
|----------------------|--------------------|------------------|-----------------|
- 問12 13世紀後半、モンゴル帝国（元）による二度の来襲（元寇）という危機に対し、鎌倉幕府が行った防衛対策として最も適切なものはどれですか。なお、この対策は九州北部の博多湾付近において、海岸線沿いに石を積み上げた長大な設備を築いたものです。 (2018年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 足利尊氏が、大陸からの脅威に対抗するために九州の御家人を動員して防人を配置した。 | 2. 八代執権の北条時宗が、元軍の再来襲に備えて博多湾沿いに石の防壁を築いた。 | 3. 北条時宗が、元軍の武器である「てつほう」を模倣し、石の防壁から一斉射撃を行う訓練をさせた。 | 4. 三代執権の北条泰時が、元軍の侵略を退けるために武士の裁判基準となる御成敗式目を制定した。 |
|---|---|--|---|
- 問13 1232年、鎌倉幕府の3代執権であった北条泰時が、武士の慣習や道徳を基に、御家人たちの領地争いなどを公平に裁くために制定した最初の武家法律を何といいますか。 (2019年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|-----------|----------|
| 1. 御成敗式目 | 2. 十七条の憲法 | 3. 公事方御定書 | 4. 武家諸法度 |
|----------|-----------|-----------|----------|
- 問14 日本の歴史における武士の政治に関する出来事のうち、北条泰時による「御成敗式目」の制定について述べたものとして正しいものはどれですか。 (2026年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 足利義満が南北朝の合一を成し遂げた際、全国の守護大名に守らせたものである | 2. 後醍醐天皇が天皇中心の政治を復活させた際、武士の不満を抑えるために定めたものである | 3. 足利尊氏が京都に幕府を開いた直後、政治の基本方針として発表したものである | 4. 源頼朝が征夷大將軍に任命されたあと、武士社会の伝統を成文化したものである |
|---|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 御家人に京都の警備（京都大番役）を命じ、謀反人や殺害人などを取り締まる。	御成敗式目では、守護の権限を「大犯三箇条（だいばんさんかじょう）」と呼ばれる三つの職務に限定しました。具体的には、京都大番役の催促、謀反人の逮捕、殺害人の逮捕です。これは、守護が国司の権限を侵しすぎないように制限し、武士社会の秩序を保つ目的がありました。
問2	答え 2 御恩と奉公	将軍が御家人の土地支配を認めたり、新たな土地を与えたりすることを「御恩」と呼びます。これに対し、御家人が軍役や京都・鎌倉の警備（番役）を果たすことを「奉公」と呼び、この双方向の結びつきが鎌倉幕府の組織を支える基盤となりました。
問3	答え 4 運慶	鎌倉時代には、武士のたくましい気風を反映した芸術が発展しました。運慶は快慶らとともに、東大寺南大門に現存する巨大な金剛力士像を制作しました。この像は筋肉の躍動感などを捉えた写実的な表現が特徴で、当時の新興勢力であった武士階級に合致していました。選択肢にある世阿弥と観阿弥は室町時代に能楽を大成させた人物であり、雪舟は室町時代に水墨画を確立した人物です。
問4	答え 4 世代を重ねるごとに個々の武士が受け継ぐ領地が細分化され、生活が困窮する原因となった。	鎌倉時代初期の武士の間で行われていた「分割相続」は、すべての子に領地を分け与える制度でした。しかし、代を重ねるごとに一人あたりの領地面積が狭くなる「細分化」が進み、御家人の収入は減少しました。これにより、元寇での軍役負担や貨幣経済の浸透による借金が重なり、多くの御家人が生活に苦しむこととなりました。これが後の幕府に対する不満や、徳政令の発出、そして単独相続への移行につながる歴史的背景となります。
問5	答え 3 源頼朝は、奥州藤原氏を滅ぼした後に守護・地頭を全国に設置し、支配を固めた。	源頼朝は奥州藤原氏を滅ぼす前後で、全国に守護（軍事・警察）と地頭（年貢の徴収・管理）を置く権利を朝廷から認めさせ、鎌倉幕府の基盤を盤石なものにしました。平泉の代表的な建築物は中尊寺金色堂であり、平等院（宇治）や金閣（京都）とは異なります。
問6	答え 3 地頭	鎌倉時代、源頼朝は弟の義経を捕らえることを名目に、全国に守護と地頭を置く権限を朝廷に認めさせました。地頭は特に土地の実務的な管理や年貢の取り立てを担い、幕府が地方へ支配を広げる大きな基盤となりました。
問7	答え 1 上皇側に味方した貴族や武士から没収した土地に、幕府の基盤である東日本の武士を地頭として新たに派遣した。	承久の乱で勝利した幕府は、敗れた上皇側の貴族や武士から約3,000カ所におよぶ領地を没収しました。これらの土地に、幕府への忠誠心が高い東日本の武士を「地頭（新補地頭）」として任命・派遣したことで、それまで朝廷の影響力が強かった西日本においても幕府の支配力が浸透することになりました。
問8	答え 4 チンギス・ハン	13世紀の初めにモンゴル高原の諸部族をまとめ上げたチンギス・ハンは、強力な騎馬軍団を編成して中央アジアを征服しました。彼の建国したモンゴル帝国は、のちにユーラシア大陸の大部分を支配する大帝へと成長し、東西の文化交流を促進しました。
問9	答え 4 承久の乱で朝廷側を破った後、二度と幕府に反抗させないよう監視し、支配を強化するため。	承久の乱は、幕府が朝廷に対して政治的な優位を決定づける大きな転換点となりました。乱の終結後、幕府は朝廷を監視下に置くとともに、それまで支配が及びにくかった西国に多くの新補地頭を任命し、それらを管理するための拠点として六波羅探題を活用しました。なお、九州の警備のために置かれたのは鎮西探題であり、混同しやすいポイントです。
問10	答え 1 御成敗式目（貞永式目）	北条泰時が制定した御成敗式目は、それまでの先例や武家社会の慣習（道理）を基準としてまとめられました。これは、御家人同士の領地をめぐる争いを公正に裁くための裁判の基準を示すことを目的としていました。江戸時代の大名を統制するための武家諸法度や、裁判の基準をまとめた公事方御定書と混同しないよう注意が必要です。
問11	答え 3 御家人への十分な恩賞の支給	承久の乱では朝廷側の領地を没収して御家人に恩賞として与えることができたのですが、元寇は外国からの防衛戦であったため新たな領地を獲得できませんでした。その結果、幕府は御家人に対して十分な恩賞を与えることができず、御家人の生活が困窮する原因となりました。
問12	答え 2 八代執権の北条時宗が、元軍の再来襲に備えて博多湾沿いに石の防塁を築いた。	13世紀、鎌倉幕府の八代執権であった北条時宗は、一度目の元軍による来襲（文永の役）の後、再び攻め込んでくることを予測して九州北部の博多湾沿いに約20kmにわたる「石の防塁」を建設させました。この防壁は、二度目の来襲（弘安の役）において元軍の上陸を困難にさせ、日本側の防衛成功に大きな役割を果たしました。選択肢にある北条泰時は三代執権であり、足利尊氏は室町幕府の創設者であるため、この時期の対応者としては不適切です。
問13	答え 1 御成敗式目	承久の乱の後、地頭として各地に配属された御家人と、もともとその土地にいた荘園領主との間で土地紛争が急増しました。これらを公平に裁くための基準（裁判の基準）が必要になったため、北条泰時によって制定されました。別名「貞永式目」とも呼ばれます。
問14	答え 4 源頼朝が征夷大將軍に任命されたあと、武士社会の伝統を成文化したものである	御成敗式目は、鎌倉幕府が確立された後の1232年に、三代執権の北条泰時によって制定されました。源頼朝以来の「御家人（武士）たちの権利や義務」を改めて整理したものであり、武士社会の伝統的なルールである「武士社会のならわし」が反映されています。後醍醐天皇による建武の新政や、足利氏による室町幕府の成立よりも前の時代に位置づけられる出来事です。